

42歳の新しいチカラ、滋賀を変える 元栗東市行政マン

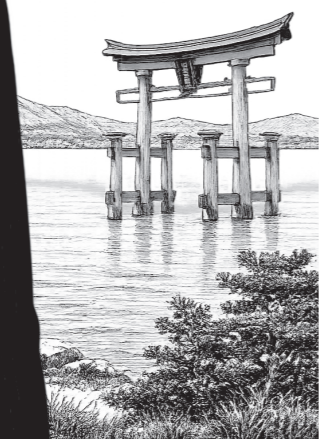


おお
大すみみ
もとし
42歳



わたしに託してください

- ◎ 栗東市生まれ
- ◎ 栗東市立葉山中学校卒業
- ◎ 県立守山高校卒業
- ◎ 立命館大学経営学部卒業
- ◎ 民間企業を経て、栗東市役所に十六年間勤務
- ◎ 特技・水泳、空手
- ◎ 一児の父



1 交通税反対

数年後から始まる「交通税」は、住民税への上乗せ（課税対象者一人当たり年間約6,000円の徴収）が想定されます。県民の皆さまの可処分所得が減る事で滋賀県の経済を硬直させない、働きがいのある社会を作ることを目指します。

2 県知事の退職金削減

約3,180万円の県知事の退職金。県知事にはこの退職金が1期4年ごとに支払われ、その都度、所得税控除を受けています。これを何期務めても総額800万円の退職金へと改革します。増税せず、自らを律するリーダーを目指します。

3 行政改革 ～伝統と信頼を取り戻す滋賀に～

政治的アピールによる新規部署創設ではなく、堅実な行政運営を行ってまいります。

- 国際交流見直し
- 商工中小企業応援
- 農村振興課への注目
- 文化財展示コンパクト化
- 警察・教育委員会と連携した交通安全強化
- 森林税見直し
- ビワイチロードへの投資
- 女性も男性もライフコースを選べる社会へ
- CO2課廃止
- 「ここ滋賀」効果検証
- 森林と琵琶湖アピールで環境県滋賀を全国へ
- 国内外への近江ブランド再発信

